

御堂筋の会

Midosuji no kai

私たちは、ミナミ御堂筋の沿道企業体です。

定例会ニュース

(2020年7月)

「ミナミ御堂筋の会」は、ミナミの御堂筋沿道の不動産オーナーが連携し、「世界の御堂筋」をめざして、まちのあり方を提案し、実現に向けて働きかける団体です。

vol. 52

1. 道路空間再編について

側道歩行者空間化事業に関して、道頓堀川～千日前通区間(東側)は、当初7月の側道閉鎖をめざしていましたが、新型コロナウイルスの影響により工程の見直しがありました。7/15には、御堂筋沿道・道頓堀橋南詰～千日前通区間整備に係る協議会が開催され、この間の経過や関係する事業の状況を共有し、地元の皆さんと協議調整をしながら実施していくことが確認されました。また、道頓堀川以北～新橋においては、今後、沿道協議会設立に向けた動きを検討・調整していく予定です。

側道閉鎖に向けた準備工事開始について

- 工事スケジュール (心斎橋筋2丁目～難波1丁目)
- ① 試掘工事 **【6/19～7/25】**
- ② 構造物の撤去・移設 **【7月下旬～9月上旬】**
(門型標識撤去、情報ボックスの移設、イチョウの撤去)
- ③ 分離帯撤去～荷捌きスペース等の設置 **【9月中旬～11月下旬】**
(分離帯の撤去、停車荷捌きスペース等の設置、イチョウの移植)
- ④ 側道を閉鎖し、ベンチ設置に関する現地検証を実施 **【12月ごろ】**

大阪メトロへの要望について

- 協議状況 (2/15に要望書提出、4/17・6/2に実務者協議)
- ・要望書を踏まえ、実務者協議を進めた結果、**千日前以南の出入口については、「全面歩道化の時点で駅全体としての検討は可能」との回答を、千日前通以北の出入口については、「上屋部分改修・地下通路内装の改修を検討可能で、道路空間再編事業と協調して進めたい」との回答を得ました。**今後、デザイン等の詳細について、地元協議会等とも調整しながら進めていくこととなりました。

2. 御堂筋イルミネーション、沿道検証等について

(1) 御堂筋イルミネーション

御堂筋イルミネーションは、昨年同様に11/4～12/31に開催予定です。御堂筋オータムパーティーは、新型コロナウイルス感染症の状況等を踏まえ、開催中止が決定されました。

(2) 沿道整備検証検討案

官民連携による側道整備に向けた検証と道路空間の活用・プロモーションについて、事務局より、検証の検討案やスケジュール案等の説明をしました。今後、大阪市や沿道協議会とも連携しながら、事業の詳細を検討していく予定です。

事業概要

- ① **【活動区間】** 収益を活用した沿道環境適正化の実施
- ② **【側道閉鎖工事区間】** 道路空間再編を念頭に置いた道路施設の検証
- ③ **【モデル整備区間】** 「歩行者利便増進道路」指定をにらんだ歩道空間の利活用
- ④ **【なんば駅前広場+モデル整備区間】** 御堂筋イルミにあわせた回遊・滞在創出
- ⑤ **【活動区間】** 御堂筋イルミにあわせた沿道のジャック



官民連携による側道整備に向けた検証と道路空間の活用・プロモーション事業概要

(3) 商店街との連携について

上記と同時期にモデル区間西側の南新会で開催を検討されている商店街活性化事業の内容について、報告しました。当会としても、積極的に協力・連携を図っていくこととしました。

会員からの意見 ◎先日、黒門市場がワンコインのキャンペーンがメディアに取り上げられていた。行ってみようという気持ち湧く。オールミナミで街が元気になる仕掛けを組み込んでいきたい。

3. 道路協力団体への申請について

6月開催の定時総会では、道路協力団体の募集に申請し、道路協力団体の指定をめざすことが決議されました。7月末の申請に向け、申請内容について事務局より報告しました。

道路協力団体としての活動内容は、「官民連携による沿道の適正化と、道路空間再編事業と連動した利活用の推進」としてまとめました。また、道路協力団体への申請にあたって、連合町会との調整も必要となっており、精華連合振興町会様・御津連合自治会様と調整したことについても報告しました。

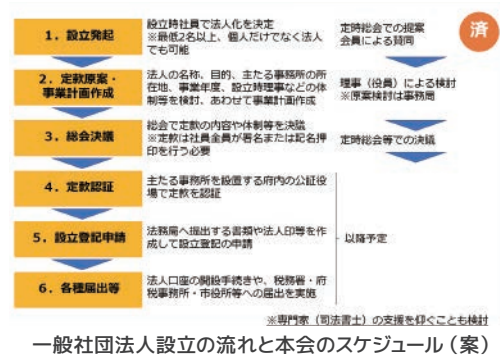


官民連携による沿道の適正化と、道路空間再編事業と連動した利活用の推進

4. 組織検討について ~ 今後の検討課題 ~

これまで、当会は任意団体として活動してきましたが、6月の定時総会の決議をもって、令和2年度での一般社団法人化を目標に、本格的な手続きを検討することになりました。今後の検討課題として、以下のようなものがあることを事務局より説明しました。

- 運営費用の増加が見込まれ、会費の増額も選択肢
- 正会員、賛助会員に、新たにテナント会員を創設
- 組織体制
 - ・理事 → 現行の役員の新選あるいは更新+新たな役員の加入
 - ・理事会 → 年2回程度開催必要、出席可能な役職の方



※専門家(司法書士)の支援を仰ぐことも検討
一般社団法人設立の流れと本会のスケジュール(案)

会員からの意見

◎御堂筋の活性化に取組む上で、行政に提言したりするには、御堂筋・長堀21世紀の会様、御堂筋まちづくりネットワーク様と一体となって行動することも重要。先に繋げることや将来を考えると、ミナミ御堂筋の会に若手の部会を作ることは必要だと思う。

5. その他 報告事項

(1) 新型コロナウイルス感染症の影響について

当会の賛助会員、シービーアールイー株式会社 中嶋様より、新型コロナウイルスの影響についてご紹介いただきました。

- 今秋は、インバウンド向けの商品は、日本ではなく東南アジアの店舗に向けるなど、MDは切り替えられている。国内では、秋に向けて国内向けの店舗をしっかりと作る動きも見えている。
- 毎週のように人出は変化している。トラフィックデータについて、少しでも早く状況を把握し、対策を進めたいという小売業の声を聞いている。
- 心斎橋筋商店街のトラフィックを見ると、先月は50~55%の水準だった。6月初頭には7割程度に回復したところもあったが、再び停滞している状況。トラフィックデータの採取は御堂筋でもできれば強みになる。
- 当会も人流データを数値化し、情報発信すればプラスになるのでは。



(2) 休会について 当会の賛助会員、イチエイ商事株式会社様が、当会の活動を一時休会されます。

定例会参加者	【正会員】	高橋・福崎(株式会社スポーツカハシ)、都(株式会社どうとんぼり神座)、藤丸(光明興業株式会社)、吉田(株式会社ベルコ)
	【賛助会員】	安田(東京建物株式会社)、武村(コココーラボトラーズジャパン株式会社)、中嶋(CBRE株式会社)、合志(野村證券株式会社)
	【オブザーバー】	福地・門重(ミナミまち育てネットワーク)
	【事務局】	中塚・絹原・竹林(株式会社地域計画建築研究所(アルパック))

次回定例会のお知らせ **2020年 8月31日(月) 16:00~** 難波御堂筋ビルディング 難波御堂筋ホール
(組織の検討・御堂筋イルミネーション・道路空間再編について協議予定)